

教授

阿南 寿美子

## ■ 学歴

---

1. 2009年 大分大学大学院教育学研究科学校教育専攻学校教育 修了

## ■ 学位

---

1. 修士（教育学）

## ■ 研究分野

---

1. 保育学
2. 教育学
3. 保育者養成

## ■ 研究キーワード

---

1. 実習記録
2. 保育カンファレンス
3. 子どもの社会性の発達

## ■ 研究課題

---

1. 多様な実習記録の現状と求められる様式についての検討を行っている。
2. 保育の質向上に向けた省察の在り方の一つである保育カンファレンスの在り方について検討している。

## ■ 担当授業科目

---

1. 保育の心理学（前期）必須
2. 子どもの理解と援助（前期）選択
3. 子どもの発達理解とあそび（前期）選択
4. 子どもと絵本（前期）選択
5. 子ども学基礎演習（通年）必須
6. 子ども学特別演習（通年）必須
7. 保育内容「言葉」の指導法（後期）選択
8. 保育内容「人間関係」の指導法（後期）選択
9. 保育・教職実践演習（幼稚園）（後期）選択
10. 教育実習指導（2023年度入学生）（通年）選択
11. 教育実習指導（2024年度入学生）（通年）選択
12. 教育実習Ⅰ（後期）選択
13. 教育実習Ⅱ（前期）選択
14. 教育実習Ⅲ（後期）選択

## 15. 子どもの心理（前期）必須

### ■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

1.	<b>授業科目名【保育の心理学】</b> 子どもの発達の理解を目的として講義を中心に授業を展開した。その際、スライド等を使用し視覚的に講座内容を理解できるように配慮するとともに、学生のこれまでの保育体験や自身を振り返ることによって、具体的に場面を想起することができるように配慮した。
2.	<b>授業科目名【子どもの理解と援助】</b> 保育の心理学や1年次に学んだ指導法の基礎を振り返りながら、子どもの発達の状況に合わせた環境構成の在り方や保育者としての関わり方についてグループワークを中心に考えられるように授業を展開した。また、スライドやレジュメを適宜利用し、学びが深化できるように配慮した。
3.	<b>授業科目名【子どもの発達理解とあそび】</b> 共同担当教員の演習で乳幼児の「遊び」を実際に体験し、感じたことを講座ごとに記録・振り返りを行った上で、指導案の作成指導を行った。「遊び」に関しては、現役の幼稚園園長により、集団遊びや身近な素材を使った遊び、ルールのある遊び、わらべうた遊びなど子どもの発達や遊びの展開方法を中心に授業を進めてもらい、それを受けて講義の中で再度、遊びの留意点や子どもへの配慮などについて学生と考察しながら、指導案を作成する中で、実践に向けての取り組みを行った。
4.	<b>授業科目名【子どもと絵本】</b> 認定絵本士養成課程必修で外部講師による講座も行われる科目である。講師が多数関わるため、授業初めに当該講義の目的を学生に伝え、それぞれの講義内容が統合されるように努めた。また、学内にあるえほんのへや及び地域にある喜久屋書店でのおはなし会を実施し、実践的な力が身につけられるように指導した。
5.	<b>授業科目名【子ども学基礎演習】</b> 保育に関する基礎的理解を深められるように、おもちゃ作りなどを行った。前期は特に学生生活に慣れること、他者と協同する力やコミュニケーション能力を高められることを目標に個別面談を実施した。後期は、ゼミ長・副ゼミ長を中心に学生が中心となって話し合いを行い、大学祭子どもの広場を出店した。学生自らが考え、作り上げられるように教員は主に学生の活動を見守りながら進められるように配慮した。
6.	<b>授業科目名【子ども学特別演習】</b> 保育に関する実践的スキルを高められるように、ゼミ活動を展開した。具体的には、保育科えほんのへや及び喜久屋書店（セントシティ7階）における“おはなし会”の実施、大学祭における模擬店などである。準備を含めて学生を中心に進めることで、協同性や責任を持った行動ができるように配慮した。また、地域の保育園が園外保育等で訪問する施設（到津の森公園）を訪れ、保育者としての視点が深まるような活動も行った。
7.	<b>授業科目名【保育内容「言葉」の指導法】</b> 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領を基にして、乳幼児期の言葉の発達や保育者の援助についての理解が深められるように配慮した。また、言葉の発達を促す児童文化財についての解説を行ったうえで、絵本・紙芝居・ペープサートなどの実践を行いながら、

	実際の保育において実践できるような取り組みを行った。
8.	<p>授業科目名【保育内容「人間関係」の指導法】</p> <p>幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領を基にして、実習で体験した子ども、子ども同士、保育者と子どもの関係性の理解が深められるように配慮した。特に学生の実習体験事例の他、現場の保育実践事例についてグループワークを通して読み解きながら、子どもの受け止め方や保育者としての考え方、関わり方について考えられるように授業展開を行った。</p>
9.	<p>授業科目名【保育・教職実践演習（幼稚園）】</p> <p>様々な角度から保育をとらえる視点が育まれるように、現場保育者の実践事例検討を行った。また、模擬保育では、これまで授業や実習を通して学んだことを活かしながら、各自で指導計画を作成し、準備・実践までを行った。子ども役は保育者が要求する年齢の子どもを演じるために、子どもの姿を表現することが必要になる。観察者は客観的に保育全体を観ることが必要になる。これらを通して、学生自に保育者としての意識が高まるように配慮した。また、ICTを用いたドキュメンテーション作成を通して、保育を保護者に伝えるためのスキルを高められるように指導した。</p>
10.	<p>授業科目名【教育実習指導】</p> <p>事後の指導において個人指導として個別面談、全体指導として報告会を行った。それにより他者の学びを自己と比較することによって個人の学びをより深め、課題を見出し次回につなげることができるようにした。また、事前指導においては教材発表の時間を設け、子どもたちへの提示の仕方なども含めての指導を行った。実習前の設定保育に関する指導講座を増やし、実習時に保育者の援助への捉え方が主体的になるように配慮した。</p> <p>報告会は前期・後期にそれぞれ1、2年生合同で行い、2年生よるスライドを用いた発表を中心に学生同士の学び合いがなされるよう取り組みを行った。</p>

## ■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2012年～現在に至る	日本保育学会	会員
2.	2018年～現在に至る	日本保育者養成教育学会	会員
3.	2018年～現在に至る	日本乳幼児教育学会	会員

## ■ 研究業績等に関する事項（2023年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
（著書）					
1.					
2.					
（学術論文）					
1.					
2.					
（翻訳）					

1.					
2.					
(学会発表)					
1.	2024.5	保育の質を 高めていく カンファレ ンスに関す る研究	共	第 77 回日本保 育学会 (オンラ イン)	①保育の質を高めるための手立ての一 つとして行っている写真記録を用いた 保育カンファレンスについてのアンケ ートを実施し、保育者が感じている負担 感を明らかにした。 ②共同発表者：阿南寿美子・島田知和 ③第 77 回日本保育学会抄録
2.					

## ■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外 者	交付決定額 (単位：円)
1.	保育実習における現場指導 担当者の実習日誌指導に関 する質問紙調査	保育士養成協議会九 州ブロック協議会	○末嵯雅美 阿南寿美子，（上原真 幸，大谷朝，金子幸，島 田知和，藤本朋美，二子 石諒太，古林ゆり，脇信 明） ※2023 年度～2024 年 度にかけての継続研究	300,000
2.				

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.				
2.				

## ■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2012 年 4 月～現在に至る	九州保育者団体合同研究集会	分科会運営委員

2.	2016年4月～現在に至る	北九州市児童福祉事業第三者評価事業	委員
3.	2018年1月～現在に至る	NPO 法人あゆみの森共同保育園	第三者委員
4.	2021年4月～現在に至る	社会福祉法人喜久茂会（ふたば保育園）	評議員
5.	2021年6月～現在に至る	北九州市社会福祉研修所キャリアアップ研修会	講師
6.	2022年4月～現在に至る	北九州市児童福祉事業第三者評価事業評価基準見直しプロジェクト	委員
7.	2024.8	福岡県私立幼稚園振興協会主催 夏季教師研修会	助言者
8.	2024.7	北九州市私立幼稚園連盟教師研修大会	助言者
9.	2024.7	第56回全国保育団体合同研究集会	分科会世話人
10.	2024.10	北九州市指定管理者検討会	構成員

## ■ 学内における活動等（役職，委員，学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2020.4～現在に至る	教務委員会	副委員長
2.	2016.4～現在に至る	西南女学院大学短期大学部附属 シオン山幼稚園運営委員会	運営委員
3.	2018.4～現在に至る	認定絵本土資格養成講座	責任者
4.	2024.12～現在に至る	かなめキッズひろば運営（北九 州市子育て支援事業）	コーディネーター
5.	2024.4～2025.3	西南女学院大学教職員研修会	委員